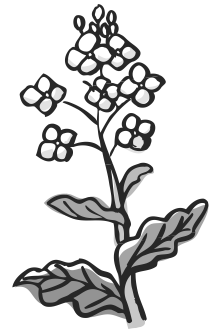


1、GMナタネ自生調査って何??

GMナタネの輸入港や身近な幹線道路などで、輸送トラックよりこぼれ落ちたGMナタネが自生して広がっていないか、または周囲が遺伝子汚染されていないかを調べる活動です。まずは道路沿いに咲いているセイヨウナタネを探して採取します。それを簡易検査キットを使ってGMかどうか検査し判定します。



2、GMナタネって何??

GMとは遺伝子組み換え技術のことで、従来の品種改良とは全く違い、種の壁を越えて人為的に遺伝子を埋め込み、自然には誕生しない生物を作り出す技術です。未知のアレルギーの危険性、動物実験による重度の健康被害が多く報告されています。

GMナタネとは遺伝子組み換えされた除草剤耐性を持つナタネのことで、強い除草剤をかけても枯れない特性があります。近年除草剤に耐性を持つスーパー雑草の出現が増え、農薬の使用量が増え、毒性の強い農薬に切り替えるなど、GM作物の農薬残留が問題になっています。

3、なぜGMナタネを調べる必要があるの??

日本は世界最大級のGM作物輸入国です。ナタネの輸入量は、年間およそ 207 万トン。生活クラブ組合員や市民の調査活動により、輸入されたGMナタネが輸送中にこぼれ落ちて自生していることが判明、年々拡大していることが分かっています。ナタネは、風や虫を介して広い範囲で交雑します。このままGMナタネの自生を放置しておけば遺伝子汚染がさらに拡大し、自然環境や農業に対する深刻な悪影響が懸念されます。同じアブラナ科の植物や作物にも汚染が広がる危険性があります。

4、GMナタネ自生調査のもうひとつの目的

GMナタネの汚染(交雑)拡大をくい止め、カルタヘナ国内法を整備する！GM食品の表示を！

遺伝子組み換え作物の使用を規制し、生物多様性への影響を防止するために設定されている「カルタヘナ国内法」は、一般農作物や昆虫、鳥や動物、人の健康は対象外で、墓衣装責任についての法的整備はありません。これからも汚染状況を調べ広く伝えていくことで、行政や関係業者に対策を求め、GM 汚染による賠償の法的整備を働きかけます。

また日本の GM 食品の表示義務は一部の食品に限られています。消費者は GM 食品かどうか知ることができません。GM食品の全面的な表示義務の実現を目指します。

遺伝子組み換えナタネはこの種類！

